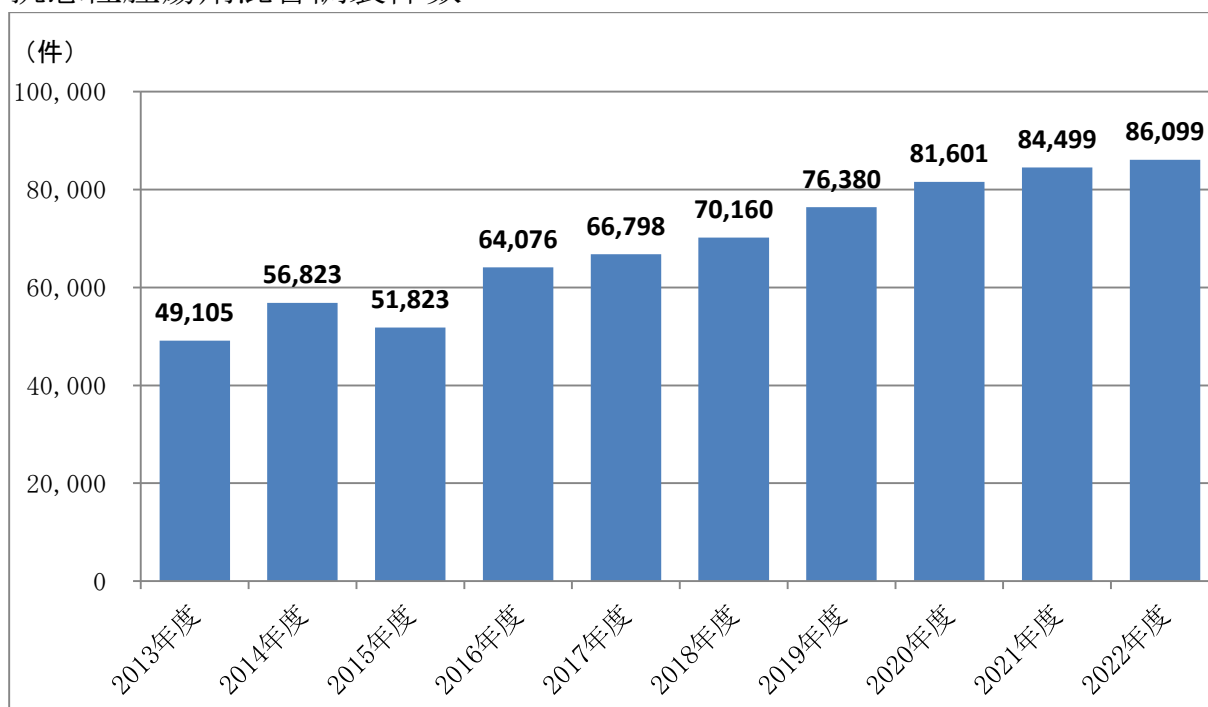


## 抗悪性腫瘍剤混合調製件数



2022年度も抗悪性腫瘍剤の混合調製（ミキシング）した件数は増加傾向にある。現在では取扱者が薬剤被曝しないように、全ての抗悪性腫瘍剤を対象に安全キャビネットの中で閉鎖式システムを使用して調製している。がん患者の増加と新規抗悪性腫瘍剤の増加、それを使用した治療が複雑化することに伴い、混合調製件数も増加している。また調製のみならず、外来・入院共に全ての抗悪性腫瘍剤治療について、薬剤師がレジメンによる抗悪性腫瘍剤処方内容をチェックし安全な治療を目指している。

データ提供 薬剤部